

本格調査 調査票

自動車交通事故による社会的な損失に関する調査

調査票

(パターン 1)

調査票：RS 1・2		
調査員 ID：		
回答者 ID：		
調査開始時間：	時	分
調査終了時間：	時	分

自動車交通事故による社会的な損失に関する調査

「負傷カードの『順序付け』」に関する質問票

はじめに

この調査には

『もし不幸にも、あなたが交通事故で
負傷した場合に、どのようにお感じになるか？』

という内容が含まれております。

正確な調査を期するために、

負傷の内容については具体的な記述がされております。

そのため、場合によっては、あなたに不愉快な思いをさせたり、あるいは気分を悪くさせたりしてしまうことがあるかもしれません。

この調査はできるだけそのようなことがないように設計しておりますが、万が一このようなことにより、これ以上調査を継続してほしくないと思われるら、いつでもそうおっしゃって下さい。

例題 1

あなたの運転経歴に関する質問です。該当する番号に○をつけてください。

＜問 1＞ 運転免許の有無

1. あり 2. なし

▶<問 1-1> 運転暦
年

▶<問 1-2> 最近 1 年間の運転頻度

1. 毎日 2. 週 1～数回程度 3. 月 2 回程度
4. 年 1 回程度またはそれ以下

➡<問 1-3> 最近 1 年間の運転距離

1. 0~5,000km 2. 5,000~10,000km 3. 10,000km 以上

➡＜問 1-4＞ 運転する車種（もっとも運転頻度の多い車種、1 つに○）

1. 乗用車 2. タクシー 3. 原付
4. 自動二輪 5. 貨物車 6. その他

➡<問 1-5> 運転目的（もっとも運転頻度の多い目的、1 つに○）

1. 買物、私事 2. 旅行 3. 仕事
4. 通勤・通学 5. 送迎 6. その他

本日ご回答いただく質問の概要

- ## 1. 負傷カードの『順序付け』

- ・いくつかの負傷カードに示された負傷状態について、これらの負傷カードを、あなたが望ましくないと感じる順番に並べかえていただきます。
- ・また、それぞれ負傷のつらさをイメージしていただいた上で、「入院中のつらさ（＝重傷度）」と「退院後のつらさ（＝後遺症）」とに分けて点数付けしていただきます。

2. 交通事故により死亡する確率を低下させるために支払ってもよい『**保険加入料の金額**』

- ・仮にあなたが交通事故により瀕死の重傷を負った場合、死亡する確率を低下させるためにどの程度支払ってもいいかについてお聞きます。

3. 交通事故による負傷を治すために支払ってもよい『治療費の金額』

- ・仮にあなたが交通事故により負傷した場合、ある仮想的な治療を受けるためにどの程度支払ってもいいかについてお聞きます。

例題 2 あなた自身およびあなたの周りで、人身事故に遭った経験のある方はいらっしゃいますか？

回答欄（該当する番号すべてに○）

- 1 あなた自身
- 2 家族（親、子供、兄弟／等）
- 3 親戚（従兄弟、おじおば／等）
- 4 友人
- _____
- 5 いない

<交通事故で負傷する確率>

平成 22 年	人身事故被害者数	89 万 9,144 人	（1,000 人に 約 7 人）
	交通事故死者数	4,863 人	（10 万人に 約 4 人）

日本の総人口 約 1 億 2,745 万人

1 年間で『交通事故』により死亡する確率 = **10 万分の 4**

1 年間で『自殺』により死亡する確率 = 10 万分の 25

1 年間で『火災』により死亡する確率 = 10 万分の 1

例題 3

AさんとBさんがいます。

仮に、Aさんが今後１年間で死亡する確率は 10万分の5 (5/100,000)

Bさんが今後１年間で死亡する確率は 10万分の10 (10/100,000)

あなたは以上の説明で、Aさんよりも Bさんの方が、今後１年間で死亡する確率が高いということが理解できますか？

回答欄

(どちらかに○)

はい / いいえ

例題 4

CさんとDさんがいます。

仮に、Cさんが今後１年間で死亡する確率は 10万分の6 (6/100,000)

Dさんが今後１年間で死亡する確率は 10万分の2 (2/100,000)

あなたは以上の説明で、Cさんが今後１年間で死亡する確率は、Dさんの3倍であることが理解できますか？

回答欄

(どちらかに○)

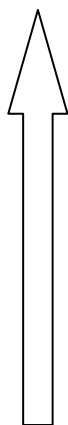
はい / いいえ

質問 1

6枚の負傷カードの「順序づけ」について、
回答欄に、負傷カードのアルファベットを記入してください。

回答欄

最も
望ましい状態



最も
望ましくない状態



順位	回答欄
1 位	健康 J
2 位	
3 位	
4 位	
5 位	
6 位	

死亡 K
(ケイ)

A
(エイ)

I
(アイ)

O
(オウ)

Y
(ワイ)

詳しい内容は
それぞれの負傷カードをご確認ください。

質問 2 それぞれの負傷状態について、あなたが感じる負傷“全体”の痛みやつらさを「100」とした場合、“入院中”の痛みやつらさと、“退院後”の痛みやつらさは、それぞれどのぐらいの割合になるでしょうか？

※ここでいう「**痛みやつらさ**」とは、交通事故による死亡や様々な負傷についてあなた自身が感じる被害の程度のうち、

○ あなた自身が感じる不安、苦痛、不快、不便の『非金銭的』な被害のことで

× 治療費、介護費、収入の減少、その他の『金銭的』な出費や損失は含みません。

※回答欄には、“**入院中**”と“**退院後**”のそれぞれの痛みやつらさを表す割合（0～100の間。小数点以下を含めても可。あわせて100になるように）を**数字**でお書き下さい。



負傷「全体」の痛みやつらさ（100）

$$= \text{「入院中」の痛みやつらさ} + \text{「退院後」の痛みやつらさ}$$

（0～100の間） （0～100の間）

回答欄

負傷カード	健康 J (ジェイ)	死亡 K (ケイ)	A (エイ)	I (アイ)	O (オウ)	Y (ワイ)
入院中の 痛みやつら さの割合	X	X	X			
				+	+	+
退院後の 痛みやつら さの割合	X	X	X			
				 100	 100	 100

調査票：RS 1・2

調査終了時間： 時 分

調査票：保険加入料		
調査員 ID：		
回答者 ID：		
調査開始時間：	時	分
調査終了時間：	時	分

自動車交通事故による社会的な損失に関する調査

「死亡を回避するための『支払意思額』」に関する質問票

（負傷カード 「死亡K」）

1. 特別な治療を受けることができる「特別な保険」の加入料 に対する支払意思額（瀕死の状態の場合）

ここからの質問は、交通事故によって瀕死の状態^(※)となることに関するものです。

この場合、通常行われている「普通の処置」では、24 時間以内に死亡してしまいます。

(※) 負傷カード K にあるような状態を指します。

特別な治療 について

仮に、現在研究が進められている最先端の医療技術を使った「特別な治療」があるもの
とします。

- －この治療に 成功した場合には、すぐに完治することができます、
- － “ 失敗した場合には、24 時間以内に死亡してしまいます。

特別な保険 について

この特別な治療を受けるためには、あらかじめ「特別な保険」に加入しておかなければ
ならず、その加入料をあなた自身が支払う必要があります。

特別な保険の内容は次のようになっています。

- 保険は 1 年契約（掛け捨て）です。
- 保険への加入料は 1 年分の料金を加入時に一括払いでお支払いいただきます。

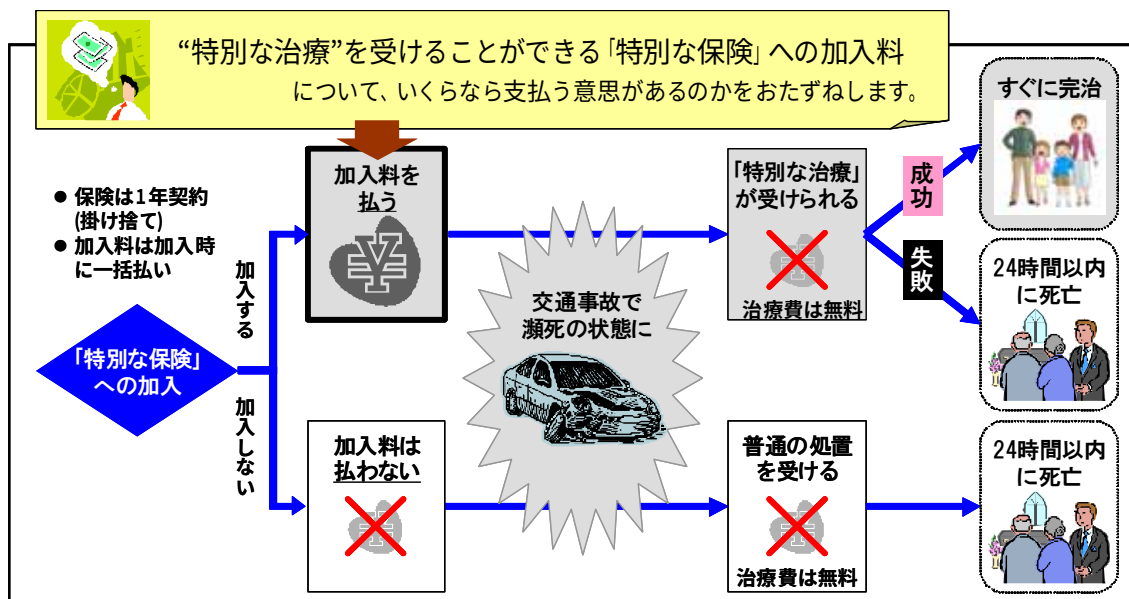
質問の内容

あなたは、この特別な治療を受けることができる『特別な保険』への加入料について、
いくらなら支払う意思があるのかをおたずねします。

留意点

ご回答に際して以下の点に留意して下さい。

- 「普通の処置」「特別な治療」とともに治療費は無料で、あなたの負担はありません。
- この「特別な保険」は、交通事故にあう確率を減らすものではありません。交通事故で瀕死の重傷を負った場合に、死亡する確率を減らすことのできる「特別な治療」を受けられる保険です。



【治療と治療後の状態に関するクイズ】 (回答欄に選択肢の番号を1つ記入)

治療の選択	回答欄
・「特別な保険」には加入しないで、「普通の処置」を受ける場合	
・加入料を払って「特別な保険」に加入し、「特別な治療」を受ける場合	

(選択肢)

① 24 時間以内に死亡	② 1 か月以内に死亡	③ すぐに完治
④ 成功すればすぐに完治。失敗すれば 24 時間以内に死亡。		

空白ページ

1. 負傷カード「K（ケイ）」 ……瀕死の状態

現在、日本では1年間に10万人あたり4人が交通事故で死亡しています。10万人あたり4人という大きさは、「死亡確率の大きさについて（10万分の4）」の図で示すとおりです。

これは、普通の処置では、あなたが交通事故により死亡してしまう確率が10万分の4であることを示しています。

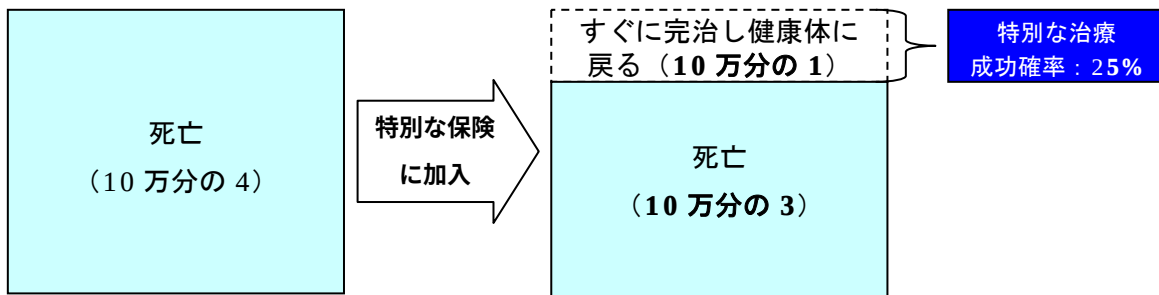
死亡（負傷カードK）

- ・すぐに気を失い、24時間以内に死亡します。



質問 1-1 『特別な治療』（成功確率 25%）

実はあなたは、瀕死の状態となった場合にのみ「特別な治療」（成功確率 25%）を受けることができる「特別な保険」に加入することができる、とします。この保険に加入すれば、交通事故により死亡する確率は以下のとおり、10 万分の 4 から 10 万分の 3 に低下します。



回答用紙 1-1

さて、あなたは、瀕死の状態になった場合にのみ「特別な治療」を受けることができる特別な保険に、1 年間の加入料が あ 円なら加入してもよいと思いますか。

なお、「特別な保険」への加入料は、あなたご自身が支払い、他のものに支出できるお金がその分だけ減ってしまうことを考慮してお答えください。

1. はい

2. いいえ

それでは い 円でも加入しますか。

1. はい

2. いいえ

それでは う 円なら加入しますか。

1. はい

2. いいえ

【SQ1-1①へ】

【SQ1-1②へ】

【SQ1-1①】特別な保険に加入したいと考えた理由は何ですか。（あてはまるもの全て）

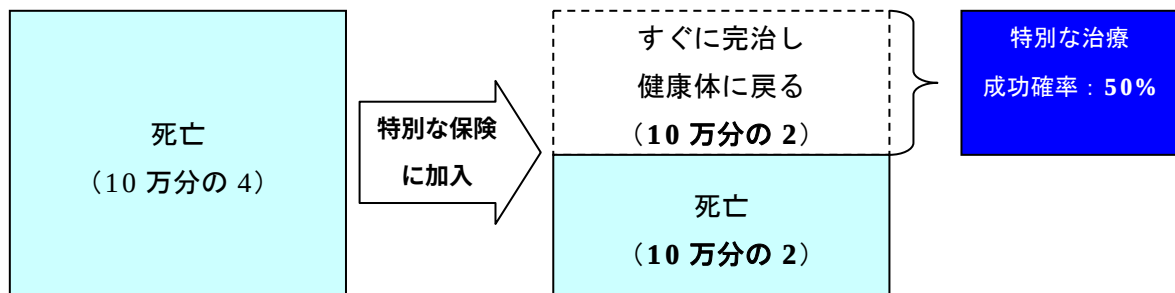
- ☐ 1：交通事故に遭う確率を少しでも低くしたいから
- ☐ 2：交通事故で負傷したときに治る確率を少しでも高めたいから
- ☐ 3：家族や周囲の人に迷惑を掛けたくないから
- ☐ 4：「特別な保険」で受けられる「特別な治療」は信用できそうだから
- ☐ 5：「特別な保険」に入らなければ、「普通の処置」も「特別な治療」も無料で受けられないと思ったから

【SQ1-1②】特別な保険に加入しない理由は何ですか。（1つだけ）

- ☐ 1：それほどの金額を出すべきものと思わないから
- ☐ 2：「特別な治療」で本当に治るとはどうしても思えないから
- ☐ 3：「特別な保険」に加入することで、運転が不注意になりそうだから
- ☐ 4：私は、そもそもこのような事故に遭うような運転をしないから
- ☐ 5：その他（具体的に _____ ）

質問 1-2 『特別な治療』（成功確率 50%）

次に、あなたは、瀕死の状態となった場合にのみ「特別な治療」（成功確率 50%）を受けることができる「特別な保険」に加入することができる、とします。この保険に加入すれば、交通事故により死亡する確率は以下のとおり、10 万分の 4 から 10 万分の 2 に低下します。

**回答用 1-2**

さて、あなたは、瀕死の状態になった場合にのみ「特別な治療」を受けることができる特別な保険に、1 年間の加入料が **あ** 円なら加入してもよいと思いますか。

なお、「特別な保険」への加入料は、あなたご自身が支払い、他のものに支出できるお金がその分だけ減ってしまうことを考慮してお答えください。

1. はい

2. いいえ

それでは **い** 円でも加入しますか。

1. はい

2. いいえ

それでは **う** 円なら加入しますか。

1. はい

2. いいえ

【SQ1-2①へ】

【SQ1-2②へ】

【SQ1-2①】特別な保険に加入したいと考えた理由は何ですか。（あてはまるもの全て）

- ☐ 1：交通事故に遭う確率を少しでも低くしたいから
- ☐ 2：交通事故で負傷したときに治る確率を少しでも高めたいから
- ☐ 3：家族や周囲の人に迷惑を掛けたくないから
- ☐ 4：「特別な保険」で受けられる「特別な治療」は信用できそうだから
- ☐ 5：「特別な保険」に入らなければ、「普通の処置」も「特別な治療」も無料で受けられないと思ったから

【SQ1-2②】特別な保険に加入しない理由は何ですか。（1つだけ）

- ☐ 1：それほどの金額を出すべきものと思わないから
- ☐ 2：「特別な治療」で本当に治るとはどうしても思えないから
- ☐ 3：「特別な保険」に加入することで、運転が不注意になりそうだから
- ☐ 4：私は、そもそもこのような事故に遭うような運転をしないから
- ☐ 5：その他（具体的に _____）

調査票：保険加入料		
調査終了時間：	時	分

調査票：治療費 1		
調査員 ID：		
回答者 ID：		
調査開始時間：	時	分
調査終了時間：	時	分

自動車交通事故による社会的な損失に関する調査

「負傷を回避するための『支払意思額』」に関する質問票

(負傷カード Y → I → O → A)

1. 特別な治療を受けるための「治療費」 に対する支払意思額（負傷の場合）

ここからの質問は、あなたが仮に交通事故にあい、ある負傷状態となってしまったと想定してください。

特別な治療 について

あなたは「普通の処置」を受けるか、それとも現在研究が進められている最先端の医療技術を使った「特別な治療」を受けるかを、選択することができます。

「普通の処置」は 無料で受けられますが、ある負傷状態（症状・後遺症）が確実に残ります。

「特別な治療」は 治療費を自己負担すれば受けられ、どんな負傷に対しても、すぐに完治するか、または後遺症が確実に無くなります。

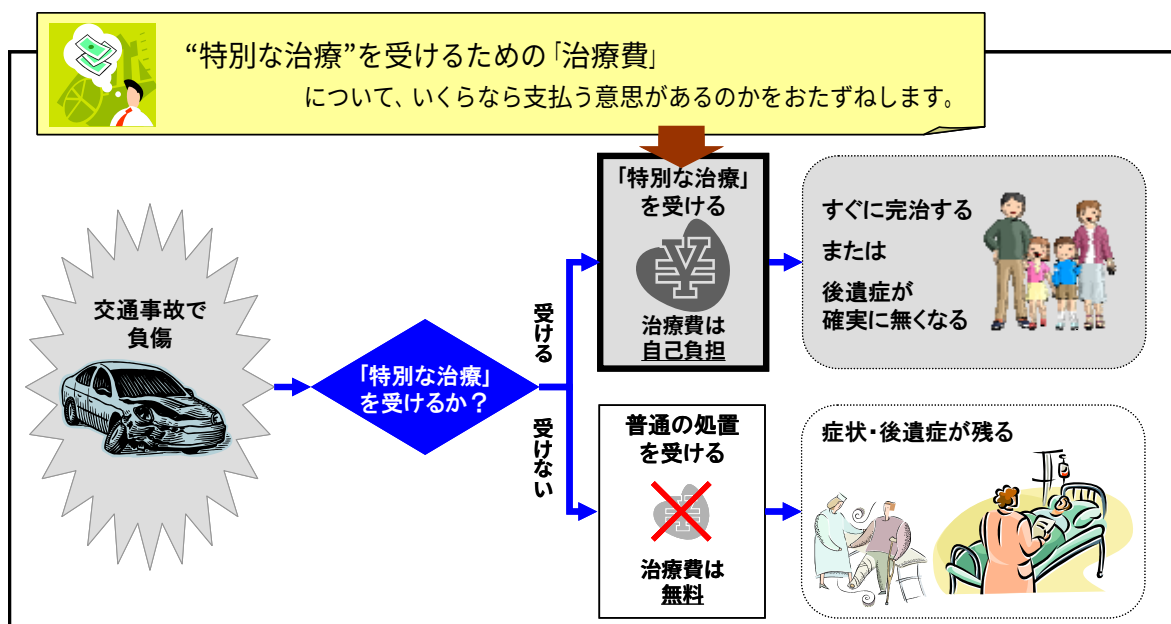
質問の内容

あなたは、この「特別な治療」を受けるための『治療費』について、いくらなら支払う意思があるのかをおたずねします。

留意点

ご回答に際して以下の点に留意して下さい。

- 後遺症による治療費・介護費、収入の減少、その他金銭的な出費（病院までのタクシー代など）などは別途支払われ、あなたの負担は無いものと想定してください。
- この「特別な治療」は、交通事故にあう確率を減らすものではありません。交通事故で負傷した場合に、より良い健康状態に戻るための治療です。



2. 負傷カード「Y (ワイ)」

あなた自身が交通事故にあい、病院に運ばれたと想像してください。

あなたがこのまま「普通の処置」を受けた場合、『入院中』と『退院後』の経過、後遺症は以下のとおりです。

負傷カード「Y」

【入院中】1 か月から 3 か月間の入院と、いくつかの手術や処置が必要となります。身体の動きがかなり制限され、痛みや不眠があり、薬の注射や内服が必要となります。

【退院後】後遺症が残り、仕事の職種に制限を受けます。痛みや不眠に対しては、薬の内服が必要となります。

Y
ワイ

『普通の処置』を受ける場合

入院中(1～3ヶ月)

- 次の①～③のどれか、あるいは複数の怪我を負い、1～3ヶ月間の入院といくつかの手術や処置が必要になる。
- ①首の怪我で腕や手が麻痺する。首が動かないように固定する処置が行われる。
- ②肩と横隔膜が破損し手術が行われる。
- ③骨盤の骨が折れてしばらくは動かない。手術による骨の固定が必要となる。
- 痛みや不眠があり、薬の注射や内服が必要となる。

【写真1】 【写真2】

退院後(その後一生)

- 社会復帰はできるが、次の①～③のどれか、あるいは複数の後遺症が残り、仕事の職種に制限を受ける。痛みや不眠に対しては、薬の内服が必要となる。
- ①首の固定はまもなくとれるが、腕や手にどろどろした痛みが残る。
- ②身体を動かすと胸に痛みが残る。
- ③股の関節(足の付け根)に運動障害が残る。

【評価項目】

	悪い状態 レベル3	レベル2	レベル1	良い状態
移動(歩行等)ができるか?	ほとんどできない	いくらか困難あり	ほとんどできる	
身の回りの整理(洗濯や掃除等)を自分でできるか?	ほとんどできない	いくらか困難あり	ほとんどできる	
みだんの忌避(仕事、勉強、家庭の雑用)を行なうことができるか?	ほとんどできない	いくらか困難あり	ほとんどできる	
痛みや不眠はどの程度か?	ひどい	中程度	軽い	
不安や心配はどの程度か?	ひどい	中程度	軽い	

＝『普通の処置』を受けた状態

	悪い状態 レベル3	レベル2	レベル1	良い状態
移動(歩行等)ができるか?	ほとんどできない	いくらか困難あり	ほとんどできる	
身の回りの整理(洗濯や掃除等)を自分でできるか?	ほとんどできない	いくらか困難あり	ほとんどできる	
みだんの忌避(仕事、勉強、家庭の雑用)を行なうことができるか?	ほとんどできない	いくらか困難あり	ほとんどできる	
痛みや不眠はどの程度か?	ひどい	中程度	軽い	
不安や心配はどの程度か?	ひどい	中程度	軽い	

＝『普通の処置』を受けた状態

1